



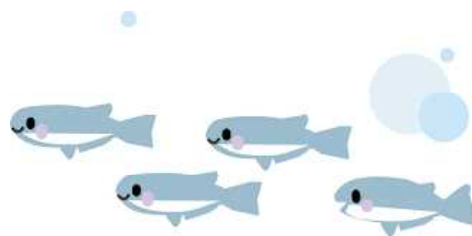
校長通信

令和4年度 3号 令和4年5月10日

和歌山市立河北中学校 校長 戸川定昭

今年のゴールデンウィークは、前半、雨模様でしたが、後半は、さわやかな晴天が続き、行楽日和となりました。毎年、この時期、私が住む有田市は、みかんの花が咲き、甘酸っぱいにおいが、あちらこちらに広がります。私の日課の朝のランニングも、みかんの花のにおいで、本当に心地よく走れます。また、走りながら小川に目をやると、めだかや亀など、温かくなって活発に動いている姿もよく見かけます。五月晴れの中、自然の恵みを体感しながら走るのは最高です。

めだかと言えば、めだかは群れで泳ぎ回りますが、めだかや魚の群れを英語で、schoolと言います。学校という意味の単語と同じです。めだかの群れを英訳すると a school of killifishes となります。たまたま偶然かもしれませんが、日本の童謡で、めだかの学校という歌がありますが、この題名の英訳も、同じく a school of killifishes となります。



季節時候のご挨拶、たいへん長くなってしまいましたが、おつきあいいただき、ありがとうございました。

《河北中生、各種大会で健闘！》

ゴールデンウィークを中心に、運動部の春季大会が開催され、本校の生徒も参加し、健闘してくれました。私もできる範囲で会場に応援に行きました。勝敗の結果はさておき、日頃の練習の成果を発揮し、自分のもてる力を精一杯出し切ろうと一生懸命プレーする子供たちの姿に、心を打たれました。男子バスケットボール部と、女子卓球部が団体3位入賞を果たしました。

また、文化部の催しでは、5月5日、公園前交差点を中心に開催された、子どもなかよしまつり・音楽大行進のパレードに、本校の吹奏楽部が参加し、さわやかな演奏と行進を披露してくれました。1年生も、色鮮やかな旗を掲げて行進し、会場の観客を魅了していました。

